

[02_01]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470492>

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 2 (1), 2002-03. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :

編 集 後 記

寒さに強いわけではないけれど冬は好きな季節です。

凜とした空気も心地よく感じ（変わっていると言われますが・・・）、澄んだ空気がきれいでドキドキします。感覚が研ぎ澄まされたような気がして。

豪雪地帯に住んでいないために雪が降ればワクワクしてもう大変です。

スキーに温泉に飛び出して行かねば、と。

なのに今年の冬はいつもとちょっと気分が違うのです。

年が明けてからというもの、私の周りに次から次へと「闇」が降りてきて閉ざされてしまいました・・・

この広報が皆様のお手元に行き渡る頃には、名実ともに春の陽が訪れているでしょう。

それまでには、私にも光が差して欲しいと願いつつ・・・もちろん皆様にも。(A)

先日「男女共同参画社会に向けて 一女性たちのエンパワーメント」なる講演を聞きに行きました。すごく楽しくそして力を与えてくれた講演で「私にもできることがある筈だし、これから頑張るぞー」と心の中で呟きながら意気揚々と帰宅しました。ところがところがです。数時間のうちにその気持ちはペチャンコに萎んでしまったのです。夕食時に姑が私にこんな意味のことを言ったのです。「この頃 貴女が変わった！と近所の人言ってるよ。私も思う。貴女は随分強くなったというか きつくなったというか……………」で結びが「**（夫の名）がいなくなってとやかく言われないように気をつけとかんとね」です。早い話が夫を亡くして1年半、未亡人になった私は目立たないように生きろ！ということなのでしょうか。そんな事！冗談じゃない。やっとなんか最近これからの自分の人生真剣に考えなくては と思い始めた矢先なのに。子供が巣立った後の人生については夫と二人でいろんなプランを練っていたのに、すべてが振り出しにもどり生きる気力が失せていた。これじゃダメだと思い先ず車の運転免許を取得し、好きなことを学ぶためにレッスンに通い初め、生き甲斐探しを始めた私が近所の人にはそんなふうに見えるだろうか？それとも自分の思うようにならない嫁への心配も含めた苛立ち？福岡市近郊の小さな町で女性が社会に向けて声を上げるのはまだまだ相当の勇気が必要なようです。21世紀は女性の時代といわれますが・・・

(第2の人生を踏み出したばかりのS. A)